

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症は、中国武漢市の発生が報告されてから、日本をはじめとして世界各地で報告されています。毎日報道されているように感染が広がりつつあることから、インフルエンザ対策と同様に事前に咳エチケットや手洗いの励行などの感染症対策を行きましょう。

<新型コロナウイルス感染症とは>

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感^{けんたいかん}）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日～6日）と言われ、ウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつると言われています。

飛沫感染: 感染者の飛沫（くしゃみ・咳・つば等）と一緒にウイルスが出て、ほかの人がそのウイルスを口や鼻等から吸い込んで感染

接触感染: 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの者に触れるとウイルスがつき、ほかの人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染

<新型コロナウイルス感染症にかかったと思ったら>

1、 帰国者・接触者相談センターへ電話し相談



帰国者・接触者相談センター連絡先（最上地域）

居住地	担当	電話（平日の日中）	電話（休日や時間外）
最上地域	最上保健所地域保健福祉課	0233-29-1268	0233-29-1300

※電話相談の内容から疑いがあると判断した場合適切な診察を行う「帰国者・接触者外来」への受診調整を行います。

2、 受診方法の確認

帰国者・接触者相談センターから「帰国者・接触者外来」受診方法を聞きます。

3、 受診

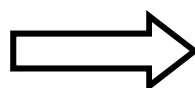
「帰国者・接触者外来」へ電話し、受診する時間や入り口などの指示を受け受診します。

緊急の場合を除いて、医療機関への受診を連絡なく、直接行うことは控えるようにしてください。

<新型コロナウイルスに関する一般電話相談窓口>

厚生労働省の電話相談窓口：0120-565653（フリーダイヤル）

受付時間 9時00分から21時00分（土日・祝日も実施）



裏面もご覧ください

<日常生活で気をつけること>

予防のポイント

1、流水と石鹸・アルコール消毒薬による手洗い

外出のあとや咳をした後は手洗いを徹底しましょう



2 咳・くしゃみをする際はマスクの着用・咳エチケット

咳エチケットとは他者に移さないためにマスクやティッシュ・手で口や鼻をおさえること



<相談・受診の前に心がけていただきたいこと>

- 発熱などの風邪症状がみられる時は、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱などの風邪症状がみられたら、毎日、体温測定して記録すること。

<帰国者・接触者相談センターにご相談いただく目安>

○以下に該当する方は、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

- ・風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続く方

(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です)

- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

○次の重症化しやすい方は上記の症状が 2 日程度続いた場合、ご相談ください。

- ・高齢者 ・糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方 ・透析を受けている方
- ・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方 ・妊婦の方

○お子様をお持ちの方へ

- ・小児については、現時点で重症化しやすいとの報告はないので、新型コロナウイルス感染症については、上記を確認し対応をお願いします。



<新型コロナウイルス感染症を疑う場合とは>

1、発熱(37.5℃以上)かつ呼吸器症状を有している

2、発症から 14 日以内に、以下の(ア)(イ)のいずれかを満たす

(ア) 武漢市を含む湖北省または浙江省への渡航歴がある。あるいは居住していた。

(イ) 湖北省または浙江省への渡航あるいは居住していた人との濃厚接触歴がある。

なお、上記に限らず医師が新型コロナウイルス感染症を疑う場合があります。詳細については、厚生労働省ホームページを参照いただくとともに、何か不明な点がありましたら前頁相談窓口へご相談ください。

参照資料：厚生労働省ホームページ掲載 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針 令和2年2月25日時点
「新型コロナウイルスに関するQ&A」 令和2年2月23日時点



厚生労働省 HP QR コード(スマートフォンなどでご覧ください)